佐座礼伊志

ル 4
1149
7

ル 4
1149
7

細石

幸西義紹抄

拾十一

ル 4
1149
7

信濃國古今名産之品物

細石

陰陽石

岩茸

岩魚

羊

花漬

羮粉

干蕨

[illegible]川の産

三年郡夜間瀬川

五年郡長岡村

同郡上明村

三年郡福島村新田野尻村

[illegible]所

筑摩郡本曽

同郡日所

三年郡

木賊
梅樹
若菜
蕨餅
黄蓮
椀
和胡石
和明礬
唐檜材木
象眼塗物
干瓢
貝

伊賀郡
名張郡
名張郡
名張

蕎麦

紬信布

紬白布

郁木松

長節鞭竹

蠟麦

長蕨

麦川石

麺

芎

鶴

内郡松ヶ村

佐久郡川ヶ村

飛騨郡中曽根村

山縣郡上田町

ニヶ井郡中野町

水内郡戸隠山蕎麦

久内郡戸隠奥山

佐久郡牧市施村入布施村ヶ布施谷長者屋敷

ニヶ井郡木島ヶ郡村

水内郡ヶ川村

ニヶ井郡高ヶ村蕎麦山

諏訪湖

飛騨郡金原井谷

久内郡長居村ヶ川原

内山紙

胡桃

栗

栗強飯

串柿

蕨膳

櫛

臭水油

棠様

楊枝

山和草

山水蛭

水内郡内山村

ニヶ井郡小布施村

更科郡稲荷山峯

伊那郡三ヶ立村

ニヶ井郡深沢村

飛騨郡中曽根

内郡内新

水内郡檀田村

飛騨郡木曽福島音村

伊那郡関原山

飛騨郡中曽根

山縣郡あつそめ川

内郡陸内川

水内郡古ヶ川

松蘭

真菜瓜

鱒

曲物

真綿

鮒

茶

氷餅

氷蒟蒻

牛房

水門郡大峯山亦朝日

佐久郡川上山

更科郡稲荷山

水門郡茂菅村

佐久郡うくす川

筑戸郡奈良井村

諏訪湖

諏訪郡茂沒 安年八月郡神供

三年郡本沒

水門郡房田村

水門郡五川村

安曇郡仁科大町

口所

更科郡篠之井村

小人参

胡黄蓮

鯉

小梅

小楊原

莞筵

木葉夜硯石

駒

佐久郡雄氷山

水門郡戸隠山

諏訪湖

更科郡

小縣郡上田邑

水門郡山口村

佐久郡小相木村

佐久郡望月牧

水門郡相木牧

三年郡井上牧

光月輪

佐久郡小田井原

小田井宿の北門ハ二丁ばかりの石の高ハ大きさ一尺ばかり程の芝まじりあるつゝ生ずる光月輪とて石の高あるゆゑ此輪まと行ゐに接続まり茶の木と吟てハ夜と梅とを共に切てゐつけしとゝ相生松の名ありけり

調布　筑前国水内郡兎毛里村
麻苧布　筑前国水内郡
梓弓　伊勢郡多紀村
檜　佐久郡川上村方言加羅松木村とふ
赤松　安曇郡仁科村
霰石　筑前郡水内郡川
鮎　水内郡飯尾山頂上岩石ふるき出る
栗飯　口郡田子村
青稷　上之川
鮭　筑摩郡松本町
造酒　埴科郡寂前村
真田打紙

坂紙　水内郡坂村
椹　筑前郡水内谷
杏仁　水内郡吉之平名
桔梗　筑摩郡桔梗原東山陰年伏村真言宗年伏寺境内
清蔵　此寺小玄京皇三帝霊華大般若内あり依て為經原とふとて
雉子　佐久郡立科村
狐膏薬　三井郡菅三根
真鶴藍　筑前郡岩村十石峠中央の茅尾
箕竹　口郡松本町
科　水内郡黒姫山
枝折　口郡三倉山
柾　更科郡姨捨山麓
筑前郡木曽

苟藥　安曇郡
葛葉　水内郡吉村
白芎　佐久郡
白土　伊那郡小野村
砂利　小縣郡金沢村
陶木　伊那郡廣瀬村臨泉寺門
檜　筑ノ郡木曽
白述
氷室　佐久郡布引山麓水村
美女石　水内郡小沢村
火縄　水内郡上今井村
木綿行布　筑ノ郡本曽福島

木綿白布　佐久郡碓氷中尾谷
紅葉　佐久郡立石領　二十三ヶ村の産物なり
柳
味噌漬
相生松　佐久郡岩村田村

北信濃四郡名所舊跡細見

夫三國伝来石之寺如来は百済の移託にして天竺月蓋長者の彫刻
にて龍宮浄土の高浮壇金にて移託釋迦三尊の光明にて
如来は一寸八分仏像にて三尊共に服師にて造り
合躰の尊百八貫四百文にて出現あり今乃延元年より元二千八百四十五年 四十四歳
人皇三十代欽明天皇十三年壬申の十月十日 今乃延元年より千二百
八年 人皇三十代皇極天皇元年壬寅の年一国司
物部石之小仰せにて天皇御願にて信濃国
東西三十郡荒国平長野村よりつくり始め 第九代開化天皇より 今乃延元年より
元千二百 文年 浄土天台律俱舎四宗の三寺にて最初の本尊事
にて 三額山石之寺南門八南命山無量寺西門

[illegible]

当時如来堂南向ニ東西十七丈七尺四方南北二十九丈七尺二寸東西望行十九丈四尺八寸ニ屋
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

金澤明神 横沢明神小野明神 并小手城の宮八幡太神駒形嶽駒弓神社八如来の御乘馬の祭り 上松村郷中の産神 湯福川の流れ駒が沢の橋飛麻の国 器の堂 法ケ橋 本名荒橋 又ハ橋ヶ 荒川橋 本名荒橋 又ハ橋ヶ 清川八幡川橋

堂七ヶ谷素科の社 麻の橋 肥後國 橋ヶ沢の皇園 僧都の別園 和沢八本覚院の境内 本覚院八衆徒皇国の別園 和沢と八法然上人の師匠天台宗恵心僧都七代の法嗣ゆえ法然の出世と待ちこと 毎年四月八日ヨリ七日居えろ諸ずとそ 清水一盃清ヶ岩井堂高野大沢の硯水 硯城清水

夏清水八宵ヶ水 ヶ人坂 宵田 北内 神橋坂 石堂前 田北内 服ヶ塚 無谷治部 直賢ヶ服 和泉塚 時九塚 来迎松 仏生ヶ苅萱塚八

苅萱国如屋左衛門 石堂九ヶ舊海西光寺親子北藏 如屋左衛門 茂氏ハ建保二年八月二十四日八十二歳 辛ヶ是石堂九ハ 建保四年七月二十四日六十五歳ヶ辛ヶ 清信 恵信 兄弟塚 曽我十郎祐成ヶ

書荒ヶ塚七寺ニハ遍照山 西法院 西光寺 舊地西法院町ハ 湯福山

光明院 妙観寺 舊地横沢町ハ 善門山蓮花院正法寺 舊地素科村北内 安土

山仏生院 得行寺 舊地院堂村北内 乙輪山妙法院時九寺 舊地乙輪村北内 石橋

山正覚院十念寺 舊地素科村北内 無常院ハ山寺号ハ九ヶ遺書

堂院の舊地十念寺西法寺ハ今の寺と八同名ヶ別寺ヶ 七宮ヶ大安願上人の

塔跡ヶ 七宮ヶ八素科 素科村春宮 湯

福 横沢町秋の宮 乙輪 三輪村 武井 武井町 加茂 櫻村 笹塚 岡田村本名左喜塚 水留明神

荒木村本名木富 四十九箇所の霊地と迎ヶ

四十九ヶ所の霊地ハ七寺七宮七塚七山路七地七清水七橋 これと七ヶ四十九ヶ所の

是地ヶ小ハ七寺七宮八塚ヶ八七塚ヶ八七ヶ 駒ヶ塚苅萱塚時九塚兄弟塚外ヶ盲人塚荒ヶ塚是

ヶ駒ヶ家ハ市村の祖ヶ苅萱家ハ仏生ヶ寺ヶ村ヶ 叶ヶ家ハ乙輪村ヶ 佐藤信

恵信の兄弟家ハ堂屋山門の祖ヶ 梅九家ハ横沢町ヶ 盲人家ハ長野村西ヶ

荒ヶ家ハ曽我の兄弟家ハ荒ヶ 清水家ハ石町荒踏塚ヶ 七山路ヶ八羅漢山路ヶ

清水家ハ法ヶ 法ヶ山路ヶ法ヶ 法ヶ山路ヶ法ヶ 法ヶ山路ヶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

深沢の城（村上家の居城 天文十六年荒廃）　元亨元年〜屋形の神社　小市村　産神　小市遠長

小市石積の住宅地（小市名の関や寛永年又金沢と称し高野山より住宅地 小市名門 神社 本文神社遠長名 宿相止 井沢高 彩宿 如来）　屋口の

海〜綱敷舟と打こえ文神郡小田〜小杉原村山の荒神

三木の二王（別名天言 実長橋）　牧の宮八文高　高平中ヶ〜居城宮居守の居城

ゑ〜ゑ〜今文神ゑ〜ゑ〜中荒小及（天正十七年 ゑ〜荒地）　玄蕃稲荷（牧の宮の城中の居宅 霊社有）　石河

の舟場　名谷四山八下高居四〜村〜〜高郡〜二郡家後〜

居城（保元元年 沢荒のゑ 永禄四年 武田家の神ゑ八）　布施郡の石鎖（布施城 元文二年 ゑ年 武田三橋九）　玄蕃院（ゑ八

厳〜高の宮田平（名物）　貝沢の中貝（今年村郡中ゑ〜 英庭宮居の高ゑ居）　切畑寺（八 真言 宗）　今

井宮郡宮平の古沢佐良志宗神社（反種村 産神）　布引神社（布施村居 神）

氷沢小賀神社（氷沢村 産神）　八中宮八氷沢の〜〜上杉武田の

合戦場名所　高沢多中小田　井沢高大塚の〜牧田綱敷郡

桂寺（禅宗名 本寺）　綱敷平居寺　古郡寺（天正七年 保科 家のたちたる居）　年号蓮七年八

井沢直賀の古沢　沢　杉窪信　八幡宮の出羽〜　神〜ゑ〜

馬場郡（下山宮田村 〜牧宮の〜）　小沢田の〜太刀七太刀（川中宮合戦七〜 〜〜の御反御）　氷沢行制

御中寺古郡（天文年 中荒廃）　身福の沢荒　荒地

典厩寺八武田信繁の厳　厳　厳（武田典厩信繁八氷沢四年九月十日中沢村で 行九三年の住名英典智雄大禅定門と〜〜）

氷沢典厩寺ゑ〜杉窪院殿 鶴山宗月 大居士〜杉氏建立〜〜〜〜

勅田明神〜ふ氷沢四年 〜月十八日〜〜計死　胴合の橋（氷沢と八幡宮の間と胴と合ゑ〜〜所〜ふ）　玉福寺橋（今橋 〜橋と云）

橋田の杉〜郡（今宮の文 〜ゑ〜）　八幡宮八大合戦の御甲列　〜杉計死の沢

氷沢四年九月十八日 杉窪信武田信玄玉戦けり〜〜 〜〜中宮大合戦〜ふ〜杉計死〜八武田典厩 神

出羽四宮角 〜〜寺の〜〜〜戦〜〜 〜〜〜〜

費洞
禅宗

抵塚 廣田反枚山森ヶ村の北後にあり武田の古民

北京の天佛南京八天文

山名氏若狭守長俊の子治部少輔見付元の佛也

四年丙寅八月十八日大合義の津物戸敏殿の古墳

今小森居田八長者の源 義仲 佐野源次郎

戸部刑部少輔 天文二十三年戌辰

布施地蔵 石仏二軀比丘堀 如現長治巧くろ

芝沢の耳西面 神宮寺名と云 **古帯川** 佐野の神明

太神小帯と云 流れ川法井

浅ヶ川 後の井村後の高田川流れの事なり神の太神と称し付き元なり

帖和名集小姉崎の用水なり川なり

若しすると云ふ巧くろ

庄の宮 後の井村中の村 **浅勤藤** 井の平居

千居名庄佐倉の郡遠後井年人天文十五年成

浅野の樹大塔の戦 八高木七年秋七月 **唐橋の文** 藤の井村中の村 **二郎** 大塔の城と云 佐野の城の古跡

小美原信濃守長秀 報恩と大文字大塔と合戦雄雄敵

すると弟時秋年荒澤 **白鳥の康樂寺** 八海野郷人道慶入道文

坊覚明の完奏 **浅野与人** 現雲聖人 高橋源四郎 佐野源

長谷神社 長時 **長谷寺の観音** 八人皇二代允恭天皇乃

六の孫山口白助の建立 真言宗三日なこの長谷と云日なこと云ふ大和國初瀬長谷寺相模藤倉長谷る佐野文神敏長谷ること

湯の橋稲荷の早杉 物語 **大院** 長谷宗長 **極楽寺** 浅野長勝 陸奥天皇墨書

高麗の作と云

素原龍洞院 費洞禅宗安昌寺郡仁神日蓮堂主 九山記後号宗基の弟子記録

池飯 名物 **聖徳千載集** 行方

文神 **隆源法師の** 文神 **昭谷** 八人数

日毎の月 義宗 **古今の** 文神 **昭谷** 八四十八数

月最上の 古今集小神 **月** 後 **暁石** 暁石寺

橋 石十畝石橋外室沈有 **冠嶽** 八冠者山の冠嶽 **冠者** 文神門 **冠者** 文神門

日三三山法者山八法神敏山 冠者山三三山冠

八幡八幡武八の別の神社 八鹿神天皇の御歯骨と 八幡下総の天神社 別当

天皇宗神宮寺 社家稲田氏 **向宮** 八高橋源四郎の森 八幡村 **若宮八幡** 将軍塚

万治年冠者の嶽 力石文字 **地神敏** 境の四門并の

若宮八幡の社門

清水村[illegible]の墓の記念 義清の妻辞世の歌に世を捨ては[illegible]

義清の古城 葛尾 天文十七年八月二十四日[illegible]

横尾坂本の古城 坂倉甲斐守の館 寛文三年[illegible]

横尾玄古庵の長者 名物 拍子石 横尾の流石 古来沢[illegible]

嵐横現 横嵐と称す 多田三八の古城 唐空蔵山

岩鼻の大岩満願寺石の大槌 坂本村[illegible]

自在山 自在信明 五郎請 法蔵山薬師の真田織 [illegible]名尾

社 農佐村 矢代の山王屋代左馬の居城 天文十七年[illegible]

山田の宮大和守の居城 天文十七年[illegible]

[illegible]神の居城の[illegible]

[illegible]の民とい[illegible]

風の宮 西の宮村東の少し東小祠 大嵐の森 西の宮村 生仁 元来尼額本堂寺部信国 柏崎[illegible]

[illegible]清 西の宮村 笹崎城

[illegible]

[illegible]信公の陣屋 [illegible]

高畑坂の東 西飾[illegible]

[illegible]の城 屋敷城の後小山田氏

中尾寺 [illegible]

森倉科 名小照代有明山[illegible]

地蔵洞 [illegible]

[illegible]寺 [illegible]

[illegible]の居城 桜井御清野の館 村上家代々の廟城 天文[illegible]

[illegible]清 別當仏智山不動院明真寺 [illegible]

清瀧観世音 [illegible]

[illegible]観世音 [illegible]

乙葉月庚申 [illegible]

関谷門前の瀧澤 [illegible]

明徳寺 高畑薄正昌信の廟所 [illegible]

[illegible]神山侍従坊明王 [illegible]

[illegible]仏 [illegible]

[illegible]観世音 [illegible]

[illegible]寺 [illegible]

上号往昔小縣郡海老村ニあり寺院殿堂有殿堂建立後西条村今の地ニうつり三田家の祈願所となり
なり祝ひ言葉ハ陸奥の仏師大宮司の作護摩堂ニ安置ス武田信玄一百三礼の自作ニ
て今昊宝
陸奥国名所一 白石大明神ハ清和天皇第四の皇子源経基の
家廟と奉り墨徳大明神ハ真田一當斎信之の魂と奉る
十月七日ニ大海殿殿と号文化七年
八月西の墨徳大明神と奉称ス 宮の平堂の平 古来村上家の祈願所ニ為ス
ちなみ
よって今八月ニ初ニ牧内村ニ
うつし安置ス
開山ハ元来尼師ニ
春屋法師と初めて
法宝を
千年祭ニ
堂平ニ行ハ平林壁間小動法師ニ今牧内村ニ
養蓮寺 元般若ニ
ハ小橋川村ニ入る日蓮の
法名八長左ニ
ニ安置中居ス
雲念寺ハ元井主水正開基
法名小底て摩尼宝院と号代々真田忠種
朝長弟代の代代陳代役勤る人也
真田庄の菩提所長圓寺ハ信州曹洞宗
彩色村小建立一元和年中
大重和尚代弟所ハ
大林寺 曹洞禅宗ニ
元松院殿宝月妙泉大師ニ廟牌ハ
信之の母
大鋒寺

芝村小ハ行
ニ信之の願
大英寺 元来小縣郡飯島村小建立て芳泉ニ
信之の室大蓮院殿英誉皓月大師の廟所ハ
陸奥
法名宗
源寺
練光寺 禅宗ニ
寺号ハ
福徳寺 寺号ハ
寺号ハ
恵明寺 黄檗宗
九ケの薬師 ハ長谷寺
大林寺大英寺大海ニ
練光ニ願所ハ
薬師ハ
福徳ニ
飯綱宮祝神社中村神社玉依姫命
神社 以上式内
社代の内
池田磯部大明神 伊勢国ニ
伊勢ニ
小川家記伊正川
ニて古事異ニ
天平神左相殿南方ニ
天御中主命の三神ニ
児玉の峯 磯部の宮主の
ハ
ハ
ハ

本石甲斐津城
川中島の城とも云
武田富田中村吉沈
等十人居改名

浄安口 庄飾の島安寺の和馬喰町の大日
浄屋とふに上住一所不入口ゆゑ依て名付

十人町 庄飾氏家臣
梅塚官下野村

郡内殿 竹山の南法泉寺
のうしろ屋敷

郡内殿下八神社仏閣 町田名所 舊源寺

祇少く降と号
業女ふつとふ

多武峰寺尾 伝長の古屋敷

天正十年十月
のなまよ相村

村上の宮 百宝寺の下の天森
家之夜彩法大明神をまつる

葉村の弥陀堂大鐘

ちの石不動 大浄ちの服心の名ゆゑ不動の像形
石新弘法大師服命朝日山記ゆゑ

大室の城源治郎と敵 天正十年攻ゆゑ

罷の中央罷石 三ヶ所内
塩新支神二ヶ所

新川田 川田村ゆゑ字名
天文十二年流廃

関場 保科

保科家代々居城
天正十年三月三移

清水寺八大同二年の開創

金堂五大尊 五智 大六の大日四天王各
八尺雲慶の作

釋迦堂弥陀堂常念仏護摩

堂三重塔二王門八所 後現十二所 明神 坂上刑部田村弥陀山法水ゆゑ

虎御前

八幡新屋の舊解所 保科高帝十年
同月十代菩提寺

光平の屋敷 前の城八葉水之城

城水成 荒磯川合戦の時のお陳屋

九品仏蓮花寺八智泉法師の草創常念仏所

の中央二王堂の二王八恭澄和尚の作 越智山蓮華寺よりの言伝ゆゑ智泉法
九品の弥陀弘法大師の宗服ゆゑ大仏ゆゑ中古大ゆゑ八幡焼ゆゑ今一所のこれ
又八仏は建立八武州融天寺の二世融異僧 師八弘法大師の名ゆゑ信州の産人ゆゑ
信州伊内村
ゆゑ

正満寺八井上左つの宗奏 伊内ゆゑ井上左つ正満八
清和源氏頼信の末流

伊内殿

八幡太郎義家の坂崩 伊内二千石の郡ゆゑ伊内氏井上氏の末裔ゆゑ永承二年高
城の後も伊内殿と称し古屋村ゆゑ信濃長五年塩田重ゆゑ

姫宗八重の屋敷 伊内名産

梅崎 井上村姫草の名ゆゑ

桐小荒崎井

の上の星八宿ゆゑ頼季ゆゑ弥代の右陣 永承二年
三月廃

右大将の乗馬和

墨ゆゑ名ゆゑの弱場 源義家小軍彩敵の
ゆゑ井村ゆゑ

荒小路 馬塚

の坂南ゆゑ名ゆゑ南ゆゑ曽ゆゑ
信濃敬小荒小路荒塚ゆゑ

乗雲寺八寿長不孔和尚の宗奏

法然上人弟子源会光明寺
荒小路忠記主禅師の法嗣ゆゑ

八丁の坂 天仙寺 物語 乗持の城八乗

持ゆゑ和忠義の居城 水承二年二月中
武田家のたたた城

相原の郷の宮豊寺

の神社 佐[illegible]年中の[illegible]

野辺庵の念佛

[illegible]

柏原乃橋

[illegible]

仏礼の寺 [illegible]村

妙徳山福寺

[illegible]

仏仁の滝 今ハ絶

仏仁橋現 仏仁村の[illegible]

青木の薬の高板の[illegible]

[illegible]

[illegible]

高野に判官代盛言の館あり永隆二年福島の城主須田
左つ武藤盛言の館の名あり元亨須田左つ八井上家の庶流一族なり
十年宮内卿代海と一天四十二年盛山国川家中長谷
長谷大無之と攻るとき豆腐大根或豆とり位朝北子
夏目の原の合戦福島村東橋五郎北と下河辺と三由東と一氏沙弥右衛門と下河
とさこ村名田元北の手
師岡山長安部と禁じと下河辺氏年十方面の原山地原の原川上宮合戦あり宇治の如
沼尾河の手師八
沙養寺長庵の古城小河原大蔵寺八福島信濃守忠別の館不
忠別八同五三年北三年北城主左つ左又正別長子
元和二年九月十四日二年法名大乗院敬光善正敬大居士
小川原北の門日蔵の姉葉別当蓮生寺別当城長
冠山長秀法下原水二十年七月二十日近化
板弥陀堂小川原村山内板
みて遠弥陀如来
高井野八元和七年
己来の七月五日法西八帝高朝の大代の孫そこの古福島の
城主福新沢正直の孫安慶房源の大寺信濃守相左つ今又正別の
流罪の名城初度源氏あて二十九日と所一信濃山第一寺高信寺忠別四百五千石と御り天和二年
忠別卒去ふ子ふ正別文代家会所一二千四七十石名九年
四年春三と御宮永四年正利逝去御よりまりうて後七ヶ
て二年法名海福寺殿前三品相公月翁正印大居士と下
嶋源市と逆正利法名正元院殿雪巌宗白大居士

と下高百八十三月八日より今城地跡に
三年寺と下ふ弥ち流のち建立八
両沢三年北の御
山上の法名
ゆ七ヶ所三年の村ヶ寺
笠村ヶ元の原
蟻塚山
ちひ川三年北牧村
石村の名三百
牧村八牧伊賀守の城永隆二年
三百六十の原体
山田の信濃板
谷
尚沢思石
命十とと
矢崎山沼場村
原田親重師
原板院八福島市と逆正利の宗
別当寺長宗
浄土宗
遺骨の願所青洞宗山田
三百六十まち
小布施栗名物
龍雲寺念仏堂浄土宗
大日如来小布施村代四四中小
まち石仏尊弥勒
伊賀所大神宮信濃守原
田原信濃宿
金毘羅堂
稲荷明神小布施所
信濃守原
福島清海庵
一休禅師の弟子清海和尚の庵不なり就せる中興六年
と子人多在の沙羅双樹清海庵の跡小ヶ
貴同禅宗で
黒谷化阿弥陀仏
九百堂本名熊野堂
飯田玉照寺三門三王門
六川天神宮祠
天神の名
天言宗
清
水丁子塚の宮延
名尼
遠洞湖
八園法華寺で湖ヶ
八源川
ヶ
と元亀と
隆金の石碑
船形の高
建久年中武
船之東原の花
殿橋
四信仲の
中央ヶ
源川
後井川
流合
五之元
本名稽ヶ巣と下
遠洞湖ヶ関ヶ
殺
紀部山
蔵寺
高ヶ水七
年北尾
第ヶ大門
五三年
弥九ヶ

苔の郡土屋安房守宮内八幡 安房守村庄屋 八月日市ヲ行ス

徳寺の光宮 曹洞禅宗 寺の法号 岩船地蔵 建久三年中興朝之 再社の分系創 橘原大師の

仮堂 南大師村表山ニ有 古来なし 板下三ヶ所 今むかしとせり 叶無き由今縣有 新野 寛文六年より元禄二年

迄 新野の分系創 高山

石仏 天文十年造成 小菅の滝八朝日将軍の祈願

寺 慶安二年尊法沈 石村より二里余ニ当ル 慶安ニ不昔洞禅宗の寺

永源寺 破滅して今ハ寺ハ法沈と云ふ 法沈坊舎も有 こゝ

ハ近来川上と云れしもあり 八今ハ法沈庵と云ふ

更級の宮 八月の名所 船繋の岩 船着明神 五級村の庄屋上山新朝公

舟社の分系 船繋と云岩一ツ有

中野祖 名三尼弟 所住ス 日野城 水曽の長源 三郎左衛門高

信 永二年の造 天正二年より代々 柳津寺の城

天正二年六月二十八日 源四郎 黒脇の蔦源 黒脇八三郎氏二代目の名 長安 建暦

三年 敵人の大将 長谷川遠江 日野城と遠

八黒脇八父の二日を祭り黒脇の氏神 宮水寺

推谷ヶ海ヶ 今日光山大手院ハ有ヶ

〜て尾上の城と名ケ 今ハ館と云ハ天正三年 長尾

丹八月二十七日 京都ヶ 柳津ヶ

ありしヶ 今ハ

ヶ 春清寺 八三郎氏の菩提寺 杉ノ村青洞禅宗 三郎氏の創開 開基春

八法名高松院殿春清雲大居士 天正二

二年六月九日 俗名三郎 政頼三五才

寺ヶ 日氏 氏の浦 氏尾守の隠居

白蓮観音 浄土宗 川東 石光寺 別名ハ三宮 宗南禅寺 法運寺

禅宗 足跡清水 脇円ヶ

ヶ 杉ノ村 庄屋 中野周防の原 菊山 佐野村 二俣 八南信の俗の源を

八月八佐野の二俣と云ハ 北条小田原の城 玉泉の沢 の西沢上人 撰集抄

北条小田原 仲四郎 の原 の原 の原 の原 の原 の原

の原 の原 の原 の原

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三十六坊寺名の名所

二ヶ社神社

日知新宮古屋敷

の祝者

八所権現

朝臣

小黄山

衆徒三十五坊

本宮星宮

八幡熊野

本坊大聖院

元名板野郡の

殿上の額

信州上伊那郡宮田村に鎮座し国の境界に坐すと云ふ頂上に所宮大権現の社
奥の院の宮と云ふ　参拝路花崗岩現埼玉市門村大宮司の居住の伝あり

千塚川　本名荒蒔川中古千塚川の字と同名　佐久郡小流れ流れ出る神社
千塚村の西の部の新堤を流れ流れて千塚川となり千塚村
如海山麓を大川となる　人皇十二代帝景行天皇の御宇日本武の尊東夷
征伐の時御到着なり大海の大岩　今川中に大岩あり程三里ばかり距離あり　鞍懸の峯
水門郡　国境　野の海　白石村　郷の海　郷の海　幸名川村　郷の海　郷の海　大明
神社　温井村　神社　坂西郡　茶屋の池　大明神社の乃原の池　山城の森　諏訪大明神
小坂村　西郡　桂の池　富金沢　飯心寺　諏訪の腰掛石　氷源四年九月
大伝説　桂の池　富金沢の東西　笹川渡の池　班蛇の伝　南條湖
泉寺の古墳　今神社の西　名尾　内の紙　名尾　外松本沢
切の滝　永源四年上杉藤信主従二人の七騎　戸狩真言寺　有尾寺
の入幡　飯心寺　飯心寺盛城　天正五年関東義領而織院入道
孫伝茶塚　縄張同七年皆年就　飯山寺盛城城跡　千五百貫文の地と之　愛宕所光宕

横須大輪院　別当真言宗　蔵代々の法祈祭所　忠敬寺　浄土宗　蔵主　多摩芝高輪所　金毘羅天神
伊那社別当　三明院　伊勢門法華本山流　信州四ヶ院衆格　先代橋井　松平長芳寺提
所大聖寺　寛永十六年四月　寛永十三年二月　二十七年　廣岳院　佐多
氏の屋敷　元和二年佐久信濃守安政　飯山城二百五千石と称す　松平長氏新田藩領次二年
芝泉岳寺を宗菩提寺　寛永十二年佐久郡小流れの長岳寺　長岳寺　菩提寺
院と以後又東京芝長岳院を宗菩提寺　寛永十二年佐久郡小流れの長岳寺　長岳寺
塔岳高源寺　上信野原　杉文城下八神仏積金堂
今井村　西仮の宮　上今井村　石　滝沢神　滝の花泉　滝沢駅
天情天狗塚　天狗を祀る　大天情の宮と云ふ　大金八幡宮　長清寺
弱氏の居城　義久二年中　大正十年　寺あり　寺あり　金井大宗　天正十年三月一揆
教寺多数　致所　城代今の思沢　蜂花の乱　城五十
戦城百二　千人を討取　釜淵　若狭　親世者　長清　芋川八義久三年後名母の
上皇　伊奈孔の時　治部長清　円寺　寺　長清円寺　寺　長清
寺の天院の前　小滝　二戸　小山　現八幡　又四宗
信州一　所　時　小笠原　長清　父子九人　信濃路九百人　所人　大満天神

芋川門京北野とうに芋川刑部天正七年
胃二月武蔵守小浦せらる
元隆八月七日又死の改悔九月十六日又死命終
七面毛建立法名連慶院日元居士と
[illegible]

毛野村の笑寺の蛙

名物 月夜見嶽 班山の福山

永井義

本庄御所の義盛 剛ケ嶽 [illegible]

大峯禅ケ嶽

行者同法[illegible]

村上の家

暴宗 三ケ所あり

関川の鮎

名産 往来の国境

越後村

永正二年二月

黒姫山

近辺の[illegible]

地震

左馬頭義仲謀叛の意あるを

義者の所に侍て遁補役

無佐殿十万騎

押領

[illegible]

冠者義高と良臣海野小太郎幸氏と各十七にて

海野の博奕

下向和睦の陳情 又無後長範生の[illegible]

古海

古来海の[illegible]

野尾の博奕

[illegible]

[illegible]

侍て主命黙止がたく

越後国高の博奕

長尾御市寺[illegible]

と同船して出雲に長尾小源死 義宗信の父信尾守名景
宗和寺法の兄弟孫文蔵信の妹聟と氏宗沙八橋三四郎の長男で
天の氏分[illegible]
[illegible]

野尾池渡船の橋

船の橋 湖中を人家一軒 今現小水尾[illegible]

竜宮洞

弁天の位の[illegible]

琵琶

琵琶弁天八沙基言流の御法十五童子

能中の[illegible]

子年 刑懐

臥龍和尚庵禅の床

上野の国の庵禅宗の知識 人百日琵琶流義居

真光寺池の堤

木[illegible]

遠宮

浄土宗天明の氏の位持水徳院殿の住木と引上本堂を造言氏尾木の[illegible]

木鼠村

[illegible]

六月村

[illegible]

六月村圓天寺板橋

名産 善光寺侍禮の堤

善光寺侍禮の堤

名物 黒川茶

黒川茶

名物 古河の山水鮎

古河の山水鮎

今の侍礼の文字に書給て[illegible]

平谷村

[illegible]

就寺上人の三筆元仮名書と寺宝物家と成り
元仮氏と称元来二河門徒より中古長信信一
文字を
本願寺八貴領龍氣の御
信一
番匠屋敷宇屋敷浪居人家
なし陳 川中島合戦の時天文十六年より
上杉家の本城と成り今御御城と
行れし切なし
近辺
三重ひ三千寺 黄金
茅名産 名物者穀 四ヶ村産物の産
年年草餅と称
正覚院の信牛
塔の入圓 弥寺大日如来 背面彫刻本尊大日如来
北野村産物
若月の城八源信頼政の後流 桃別 神水の城若
槻信濃守長盛永正十七年 高城
小城八敷里田明神の裏山若月の城と云又同社の裏山里塚と云有
小城と云 永源四年六月武田家のため滅亡
御後山高り古岩井村住一後又古郡山乃
先祖長盛永四十七年二月二日 桜岸寺神水の城
の死の年
敷里田八幡八神皇后宮 御懐任の上三韓征伐の時
御産の帯あり 老長武内宿禰有今石の二つ石
法螺の如持 御産中小振 乃乃朝臣 筑前の国帯

七の郡芦津の浦今の子頃
天皇誉田別の尊 芦津人皇七十五代
右二の男根石 石
とふ 重石神 男女腰
日なし 社の宗廟
村 坂東治郎の補 代居住天文年中兵乱代自故川掛
明和元年 五年古社
信 影所宿 又後
古田村本氏等流白
山麓 石
と称八 守頃 古田様
巣の 味
切京の 拾遺集 逢坂の
桐生村 切
桐の
の古 ふ 中紙 永源四年
高城

古高の太神 古田村産物
多和加羅槌 稲積村古田村産物
天周院 古田村 青洞宗
善教寺
蹴鞠 米焼餅 往古古田様下蹴鞠
製て高貴名物
逢坂の関の名 端 し
桐生水 桐京村
桐京牧神社
和田の地蔵 昊弘あり 文古城 和田城宮下の
城と云 二分中絶年間 天正十年荒廃
郷司
永源四年 荒廃
押淀 永源年中 引抜
高井

足利時代徳水上杉等に居住あり〜空磨十年より〜応仲西陣戦乱五年より〜
寛政四年より〜松平周防守領所 天保八年より〜絶あり〜 **金箱** 慶長年中駒澤家系図に見る
神社 **義居の敵** 磨屋元年より〜天文二年まで七代居住 **親鸞聖人** **清水義信** **尼信水**
行なわれ 佐井地内 **虎ノ石** 曽我兄弟の虎ノ石と云ふ 早魃の時
雨を乞ひ祈願をなすに石の重十貫八分〜 **三ノ稼塚** **伯耆軍**
塚 行なわれ 佐井地内 **南北民** **古墳** 元亀元年より〜慶長年中まで南北村の住民
戦死の地なりもあり民家系図の伝あり 長水寺
滝水寺 **滝氏** 滝言宗大日如来の堂あり 市島と称した程くの名と刻氏の名
南北村字名 慶長年中の〜 **石村の三日城** 上杉家にて女婿者 法成就するの仮砦と云ふ **神代泡沫** 滝言宗 **滝ノ森**
院圓寺 本願寺門徒 **伊豆毛神社** 神代村 慶作 **多賀社** 中尾村 慶作 **清北村大稲**
古ノ川尻 古稲三ノ会 **華厳寺** 天正十年 彫像 **大阪城** 清北村江法天師の
行なわれ 清北村地内 **清川大道稲** 神代村 清北村 **穂長口ノ大明神** 高さ三尺石造字彫
阪石 長沼城と佐久ノ氏 の分地天和三年没 **長沼の古城** 永禄四年武田左馬頭
搦手若城 同十一年馬場正房 **清水寺** 信房 **縄張関廓** 城道
建久三年より〜延文二年まで一百四十七年の〜 清水会 駐屯 長沼太郎五代の居館 弘治三年 新居と〜 貞享
五年より〜百三十八年にして 城政昌元永二年より〜 清水八幡宮 三十三年 応仁の乱 高梁所 寿

如来寺 八面朝の石勝 **洞雲院殿** **伝宗長** 曹洞禅林 元禄元年北村 石碑文の墓下 高井 法名 **原立寺**
和尚 尼山 境内小井戸 元北村 水を求めるとき 本尊 地蔵三尺 各 碑氏 寺建 日蓮宗 宗公 安金院 日穏大徳上人 天正十年 四月十三日 迁化
自然寺 八間 **慶寺** 勝年の〜 **廟** 城主佐久ノ大隠の長男 五千石の分地 曹洞宗 佐久ノ氏 法名 命日 墓あり 宗長と
晴信公 **武田大僧正入** **百の寺** **如尊春日の神作** **土面観**
在 武田信玄の守仏 観音と云ふ仏像の作 観音 元正天皇
の信仰 信濃国 春 祈願 平島 仏像の撫 乾 信
法世 作 別当 天台修験 千年院
信毎 四院 格式 ありしと云ふ
百度晴法師の遠景 **蓮如上人** **西蔵寺** 成田下信濃の古跡 政晴
の考 ひとり 苗字 連 正覚寺 頭如上人 石山 美 の古刹 方 元禄八 若月の郎 住 今長沼 信
故小若月 山と称 **長沼の神社** **薄** **訪宮** **曽我五郎の木像** 永禄四年 六月 武田信玄 当
手柱の木 当今 あり 当又 当寺 縁の 月 費 神 家の 郎 木 と 仏 神 高 信 と 和 七 郎
曽和五郎の木像と彫刻 七 当 社 門 山 安 元 三 年 長沼 神社 長沼の 産 井 陸 元 渡 川
氏 今 平 氏 と 長沼と 改 **日吉宮** 長沼城 鬼門除 **矢場八幡** 長沼城 守 附
関の宮 水難除 関家 女 神 と 勧 信 **天神堂の紅梅** 名 光 **桜堤** 長沼城 守 附 城門 ノ 傍 の 改 **飯縄の石**

木 古木にて枝下二尺ばかり余り今は枯たり 元木仮殿なり中古町宮とも云ふ 土佐の太郎抓の嫁入 八石三斗六升の抓あり 保元の太郎と称す 毎年三月大酒の前に庚抓の嫁入と云ふ事あり

鎮座橋 太田橋 長宿城周七町の内 川原郷 日本第二の三宝仏 伝尼ヶ寺の川にくれて[illegible]

郡の総庄大神院 長宿若の解宮 千種有能室元和五年姫二年西訓教之を解し 古野の郡 今の布北村にて布北四名郡居住五百石七斗家尾

八親寄聖人 第七十四回二千四百八十六年 西念坊 元布北村と云ふ今南條村浄土宗親鸞聖人七百回の忌日なり 八月十日 中家 中之刑部 永禄元年 長尾 尚観 昔洞禅寺常恩寺の住祖和尚貴想の法

漆郎三郎 古屋敷 永禄三年中 土一長尾 尚観 昔洞禅寺常恩寺の住祖和尚貴想の法

風の神社 風の宮村 風の宮 風の宮お捕 古屋敷 五百石七斗 南村

の浦 南 仏美 同御所 中之御所 南朝公張敦の法 親鸞聖人 法然大師

軍頼朝公 伊賀 駿河 政子御前の守仏 右二仏 安置 尼除地 蔵八 漆田

出羽守元春の守仏 同寺の守仏 栗田太子 聖徳太子の子 別名三宝 修法親王 元弘米 古屋敷 地主刑部左三八石米 永禄元年中 古屋敷の法刑部米 古屋敷の米 千田 讃岐守信頼の舞源 五百米七年 元文元年 破印千田 今上板家 舞師 舞の名 八幡宮の名 舞堂海中の鬼の薬師 千代松 千代松 千代松と云ふ豪家の百姓 石動清水 千田村 原橋塚 陣の橋 二橋共に三田村堀内 明治初年 長尾家 八天文二年 甲宗の八月十八日 原の河合戦 甲州方 即死千石十五人 負九百人 敵軍の総人数 神保方二千余人 討死千八百人 余の負 敵軍の総人数 宇佐宮 後鳥羽 宮 初名 嫁名 米帯刀 重頼 初名 三七 の白将 五郎 那大塚の陣 刀 原山 所 身百と改めて 三重堰 三田村 堰 美和神社 三橋村 井 堰 田橋 三橋村の内 相模 永 堰 平林の橋 八原 原 原 寺の石像 天正十三年 月 梅印

横山城ハ横山の峰ニ築ク 慶長の頃の築城 天文七年牧下

湯殿上杉和答昌禅寺

のせゝ地蔵 書洞禅宗ハ第五代千栖地蔵本名保川原地蔵ト云フ 湯川の上ノ方ニ出現大石の地蔵ニ坐シ 後門ハ頭城庄水ト云ヒ

茅山泡

の薬師 今俗鍬題薬師ト云フ 下名ハ面薬ト云フ

弥陀ヶ嶽 同山の西峯

傘松大巌不動像

布鶴沢長谷地嶽の湯 右行ノ道モ茅ヶ山近

檀田の真水の池 元来檀田村堀内ヶ谷

今ハ絶テ茅ヶ山ノ名迄 ノミ有リ石ヲ下ル

坂中の猴石 村ノ合ノ有リ石ヲ下ル 郷中猴ノ石ノ如シ

宮川石 名産 三坂の

林橋 名物

七郎の大池 十ケ郷用水 湯川の水源

宝海大師の植セシ杉

岩手の大杉 真言宗ニテ長信村ノ引移シ大石金ノ山陰ニ 石ヲ以テ

真言宗ニ属シ 耕ハ供ニ八幡ハ 桜徒ノ石仏

と云ハル百姓と彫リ 石ヲ以テ 五水ヶ七年一山ノ衆徒 衆徒ヲ建立ス

大杉七抱余リ 天保年中ニ焼失ス 根株ノミ

稲荷嶽乃

稲荷権現ハ知足院の守宮ニ 天福元年順徳院の皇子

知足院の守宮師の坊の飛ノ付テ法嗣ニ 自ラ新テ住院ノ名ヲ流ス

戸隠ノ嶽の東ノ方ニ 法華尼天の法ヲ修シ 飯縄権現の名代

て狐の牛尾と称ス 神名の和ヲ受ケ 飯縄山社僧ト

ケ 知足院の守宮ハ今の山中知足院 村名ハ明ラ

天狗嶽天狗岩 日本八天狗の内 西の門原の栗飯 飯縄山麓上の宮の服ハ栗飯

弟山ノ麓 住

こゝ迄の巻ノ終リ

嶋岩 嶋ノ内の中 巻頭ニ記ス

天狗平 栗服 栗服の滝 元迄

若松山の神崩大洞の中の滝 仮屋ノ名門

梨窪の墨宮ハ羽黒

七郎の産神 梨窪の宮ハ今里宮ト称ス 荒安村に神基ヲ移ス 荒安村の氏神ハ今百石の守宮ト 地名

ニ仁神基ヲ移ス 荒安村の氏神ハ今里宮ノ 飯縄宮ト

て 横山城ノ死ス 神輿ト称ス 也 ハ行ノ

罪人ヲ 社僧の名代ト 宗番ト称ス 寛文七年安

三年 再所年ヲ 飯縄山社僧ト云フ 天保

仏神基ヲ移ス 荒安村ノ氏神

の豆腐池 この大宝院師ト云フ 荒安の豆腐ヲ

植ル 飯縄山の名代ト云フ 飯縄

二條 飯縄社院の守宮ト 上野

時ハ 換地セシ

稚九郎 上野村ハ稚九郎ト云フ

人 上野村ハ 稚九郎ト云フ

小川の城ハ左つ貝岡の長徳 飯縄山長徳の長徳

小川殿ト称シ 弘治七年 戸神山弾陳の御居城

鬼宝寺村ノ二里余南 武田家ノ攻ル

坂村の藤紙 名産 横川退通 横頭坂 柄原の見

女穴ハ惟茂将軍の退治 ノ楓麓住ノ 荒倉山

相模の郡荒倉ふもとにて鬼人住ありしと伝ふ 桓武天皇六代陸奥守経基の五男
坂本の城主餘五の将軍 寛平年惟茂 安和二年五月七日近江を退治 従五位下行
荒倉の山にて鬼の住ありしと伝ふ **鬼窟** 同山にあり **幕の入** 今牧の入谷と云ふ惟茂
栗ふ陸奥を改めて

峠村宮の護摩岩 陸奥信夫郡 **木曽殿四天** 鬼倉里村上倉の宮に洞あり 曽伊治呰麻呂の孫と伝へ云ふ **屏風岩** 屏風と云ふ

逢川 戸隠山 **戸隠山** 戸隠の神八人皇七代孝昭天皇治世三年癸酉の年初て隠れ給ふ **素盞嗚尊の死表** 戸隠の神八人皇七代孝昭天皇治世三年癸酉の年初て隠れ給ふ 今を去る二千百四十七年 今年三社の宮建設あり

光院八表春の命を祭り中院八天の思兼の命を祭り奥の院の御本社ハ天の手力雄の尊を祭る 宝光院中院奥院これを三宮と云ふ 手力雄尊 思兼の命 表春の命と戸隠の三神とす

観世音釋迦地蔵を本地佛とす 天の思兼の命八天祖天御中主の尊の八代高皇産霊尊の御子なり 天の手力雄の尊の親神なり 表春命八手力雄の尊の親神なり 三神父子兄弟の神と

天照太神素戔嗚の尊と国常の尊と天の岩戸山 岩戸山 **なりと盤戸と云ふ** 日月を隠せし時神あり 神書に記行の国文除る

日月の神岩戸を開て信濃の玉山に投 **九頭龍権現八栗田行基と云て** 戸隠の称号を云ふ

なる石種を池に投し形と云ふ 九つの叫びあり神座の

国能せの尾の時明神 白ゴン **馬捧** 未とあり 色道 氏男よ

守氏 氏男 **神供** 奉する者耳に薄く雷鳴掛 神代系譜

筆も切氏日本武の二神なり 縁記等 引用 氏 氏 役行者 厳屋に封とす

二千百の龍 上野国四阿寺の北に峯和尚の事 **九頭龍の時の事** 小山の竜 **廣前の額八迦葉山の雪峯禅師**

九頭龍 八体小三千百山岳八渉付九の氏の大蛇形現 氏和尚安坐 氏 氏 氏

宝光院参礼七月十八中院参礼七月
十日真院参礼七月廿日参礼

宣隆大明神 東光院の住持

表山中祖山村の長

伝ふ〜往古三宿山天台宗三宗併験宗の三宗にて三本坊三千の衆徒あり〜この宣隆と云僧三本坊と
住し一山を代々支配せり〜二宗のものもこれにて戒叶竹法をそなへ〜千歳と称して中院の座主三百
年〜ミ相続して不和二日にて死せし三年の内に西宗八沼院されて一山一目にして水く宇護せんとす
戸数山に中興の人なり〜後に神山名〜中院村に宮と建て宣隆大明神と云
祭礼の高に那とりて平金を造り海とまもりて云ふ

秋葉

秋葉葉八真言の院の心にあり〜作て教釋院住
坊中院の座主坊に所にて宿を居りして

三尺坊八大釋院の住僧

役行者堂大師堂

二王門

行者堂 宝光院 中院真言の院有

瑪瑙山瑠璃光寺

古来三宗三本坊の三ヶ寺

南時寺坊 神修院 顕光寺

衆徒塔 五十一坊

の堂寶堂物と為

富士坊八天台宗 往古鬼光石の跡

衆徒常泉院妙覚院金輪院仏性院常正院之明院名神院明智院明行院観法院東
泉院真常院右十二坊也中院の衆徒蓮寿院法泉院徳善院覚照院自在院正明院十
輪院本智院宝蔵院松寿院智泉院智光院茅師院東福院勧善院正智院行照院千
光院寿教院松善院宝道院宝寿院福善院東光院右二十四坊也宝光院の衆徒教釋
院稱教院遍照院本明院普賢院浄智院常行院安養院法教院智照院福寿院玉
泉院勧寿院安乗院善定院廣善院善法院右十七坊也 三谷合して五十坊の今衆徒なり
文配の伝付石界流 戸数流の伝付と云峯に五丈の白石の岩あり〜面八形弥陀の如〜世石面に
金剛界胎蔵界春の曼荼羅と現八故に両界山と云諸国に来流の山
伝あり

三十二所の岩崖

西界曼荼羅岩の前に宝石の密壇あり〜過去伽葉仏
説法行化の跡と云ふ〜しるしなり三十二所の岩崖なり

千坊の古屋敷

三山谷に小坊名屋敷名あり〜

日の御子

中院の鎮社 伊勢神宮氏

御通

日数四十余日にて巡行

仏壇

名物 胡黄蓮

菜種坊 能山

郁木の松

長命の鞭行

戸数裏山の名木根元三尺七里余の谷山に
そびえて年経仏家の法人枝をうりて有り

九〜の茶迎

念仏堂中間あれ八雲寺
この茶迎山の茶迎山に
本名高法庵山にて今八弓岳会山と云 詠藻集に
山にて名高き所代八神の名所〜冷泉正三位俊

法華堂

仏神

諸人の堂地

仏神慈悲の園

尚蔦蘿

成郎

の堂地あるし

平の日見堂の大根と云るものの〜

[illegible]
[illegible]
[illegible]

すめて案内ものもとゝ作小病床小筆とそうて
こゝをもつて作りをて但石とゝふ毛書まゝはむ〻庄郎
家の受代なるものゝ名世をゝ〻今信濃の国二十
余家のものゝ死をして再中小行武武打ち落ち可賀代大名
信濃生活ての中家と書のもんとものゝ名ゝもゝ病
も食近所の行ゝ苗はの城主十家の君信と知
ゝゝ見昭為これも二十余再も余これあやゝ又ゝつの形
小布遠て行深なてんと形の作ゝて知ゝ為ゝ
ゝゝゝや子といて年やゝ知くゝ家中小根代の若方
とゝゝ原又塩のゝ里も知くゝ家知くゝ家のもの
れうし若生代ゝれゝゝと名信ゝ代家ゝゝ川の
例小方ゝ遠ゝ北苦ゝとゝも紀のゝゝに者ゝ事

家れゝ家ゝゝ家ゝゝ家ゝゝたゝゝゝ

東京林縫之助藏書